


保護者の意見は、多かった順に、①家庭ではルールを決めて使用させます（8名）。②中学生にはまだ必要ないと思います（6名）。③情報モラルの授業も必要だと思いました（4名）。④子供の利用内容を確認するようにしています（3名）。⑤インターネットの危険性が分かりました（2名）。発信や投稿はしないように伝えます（2名）。親子で話し合いをすることが大切だと思います（2名）等の意見があり、保護者の関心が高いことが分かりました。

イ 検証授業Ⅱ

本時の目標

- ・ 自他の情報の取り扱いに関して正しい知識を持ち、トラブルに遭遇したとき主体的に解決を図ろうとする。

学習活動	教師の働き掛け
<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<p>・ 結果を電子黒板に表示し、クラスの現状を再提示した。SNSの中では、LINEの使用が多いことを知らせた。</p> <div data-bbox="979 663 1377 927" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">現在、よく利用されているSNS</p>  <p>YouTube (動画閲覧) ライン (スタンプ機能) フェイスブック (実名登録が基本) インスタグラム (文字のみの発信はできない)</p> <p>ツイッター (140字の短文) ミックスチャンネル (動画の編集) スノー (写真加工) スナップチャット (写真加工)</p> </div>
<p>SNSの利用法について考え、トラブルにあったときの対処法を考えよう。</p>	
<p>3 SNSのグループトーク機能について知る。</p> <p>4 次郎は、何と書き込むかを予想する。</p>	<p>・ LINEのグループ機能について紹介し、使ったことがない生徒にも、既読機能等を説明し、今後使用する可能性があることに気付かせた。</p> <div data-bbox="491 1173 898 1503" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">6組仲良しグルチャ(10)</p> <p>A子: ミッキーマウスのぬいぐるみ 大好き♡</p> <p>B子: ディズニーランドに、また行きたい!</p> <p>既読9: 花子のぬいぐるみ、かわいくない</p> <p>A子が 花子 退会させました</p> </div> <p>・ 10名が、6組仲良しグルチャに参加していることを伝えた。</p> <p>・ 既読や退会等の補足を行い、利用していない生徒にも、どのような機能があるのかを伝え、全員の理解を図るようにした。</p> <div data-bbox="491 1570 898 1877" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">男組グルチャ(12)</p> <p>A君: 今度の日曜日、〇〇の祭りに誰か一緒にいかない?</p> <p>B君: 部活は午前中! 午後からならOK(^_^)</p> <p>C君: 13:30分に小学校集合で一緒に行こう!</p> <p>既読11: 俺も祭りに行こうよったけん一緒に行つてよか?</p> <p>A君: 次郎は何でくつ!</p> </div> <div data-bbox="922 1585 1337 1756" style="border: 2px solid purple; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「自転車で行く」、「自転車で行こうかな」、「部活だから行けない」等の意見が出た。</p> </div>

5 次郎が退会した理由を考える。

短文は誤解を招く可能性が大きいことに気付かせる。

男組グルチャ(12)

A君: 今度の日曜日、OOの祭りに誰か一緒にいかない?

B君: 部活は午前中! 午後からならOK(^-^)

C君: 13:30分に小学校集合で一緒に行こう!

既読11

次郎: 俺も祭りに行こうよっけん一緒に行ってよか?

A君: 次郎は何でくつ!

次郎が退会しました

・実際は、次郎がグループから退会をしたことを伝えた。
 ・A君の書き込みは、歩きか自転車か等の方法を尋ねた書き込みであり、A君と次郎君の間には、異なる考え方があるかもしれないことに気付かせた。

6 当事者の立場と傍観者の立場の両方から、個人で考える。

・「A君の立場」と「B君やC君の立場」の両方から考えさせ、ワークシートに最初の考えを記述させた。

7 役割演技をして、当事者の立場と傍観者の立場の両方から考え、ペアで話し合う。

・具体的に今後どのような行動を取るべきなのかを考えることができるように、「A君の立場(当事者)」と「B君やC君の立場(傍観者)」で役割演技をする時間を設定した。
 ・今後取るべき行動を深く考えることができるように、3分程度で当事者と傍観者の役割を交代することを伝えた。



・ペア学習後の考えを、ワークシートに記述する。

「次の日、学校で」、の一文を付け加え、より明確な場面設定しておく、生徒はより話しやすかったと考えられる。

3. 自分が、B君やC君のような立場なら、どのような行動を取りますか。	自分が、A君の立場なら、どのような行動を取りますか。
次郎の個人のラインに、「お祭り行こう」と誘う。	次郎の個人のラインに、「ごめん。書き方間違えた」といって書き直す。
4. ペア学習後の考え B君やC君のような立場なら、どのような行動を取るべきでしょうか。	A君の立場なら、どのような行動を取るべきでしょうか。
しょうたいする。	ラインしたらまた、おかしくなりそうだから、電話する。

最初の考えと、役割演技後の考えを記述させ、思考の変容を見取った。

8 本時の学習を振り返る。

・文字だけでは真意が伝わりにくいことや、短文は誤解を招くことに気付かせ、理解を深めさせた。

・SNSが人々に受け入れられている理由を考える。

メラビアンの法則
 言葉より、視角や聴覚からの情報に影響される

言葉 < トーンや表現

言葉 (7%)	トーンや表現 (38%)	表現 (55%)
---------	--------------	----------

言語…………… 7%
 声のトーン(聴覚)…38%
 身体言語(視覚)…55%

言葉のみの伝達は7%程度であり、言葉よりもトーンや身体言語（視覚）の情報に、より影響を受けやすいことを伝えた。

SNS を利用していない生徒も 3 割程度在籍していました。そのため、まず SNS のグループトーク機能を、電子黒板を使って再現するようにし、SNS の概略を伝えるようにしました。SNS を利用していない生徒に、SNS のグループトーク機能の使い方を理解させ、使い始めたときに、起こるかもしれない問題について考えさせることができました。話し合う活動では、A 君の書き込みは、歩きか自転車か、現地までの移動方法を尋ねた書き込みであり、A 君と次郎君の間には、異なる考え方があることに気付かせることができました。また、ペア学習を利用した役割演技では、いろいろな傍観者の立場について考えさせることができました。

抽出生徒の会話は、資料 3 のような会話の内容となりました。抽出 a 組の会話内容は、1 回目と 2 回目で、言葉は多少変わっているものの、同じような会話の内容となっています。抽出 b 組の会話からは、厄介な出来事には関わりたくないといった生徒の本音の部分も見受けられる内容となりました。

生徒のワークシートの記述からは、半数以上のペアで、抽出 a 組と同じような現象が見受けられました。抽出 a 組の会話内容のように、役割演技を交代しても、会話の内容は同じようなものとなり、傍観者の中でも、仲直りをさせようとする仲裁者の立場や、あおったりはやしたてたりする聴衆の立場からの、異なった会話内容は、あまり見受けられませんでした。

反省点として、情報端末を利用したネット上でのやり取りなのか、次の日の学校でのやり取りなのか、場面設定の内容で迷うペアが複数見受けられました。2 回目の話し合う活動では、傍観者同士の話し合う活動に限定するなど、ワークシートの工夫が必要であったと考えます。


◆抽出 a 組 ペア学習による役割演技（ロールプレイ）

抽出①：「何で来っと！」ほどの意味？ 車か歩きか自転車か？：抽出②

抽出①：来る方法を聞いたの？ なんで次郎は退会したのかな？：抽出②

抽出①：「来るな」と勘違いしたんじゃない？ マジで！：抽出②

抽出①：イジメになるんじゃない？ それなら今度、次郎に会って話を聞いてみる。：抽出②

役割演技交代 

最後が「？」でなく、「！」がいけないんじゃない？：抽出②

抽出①：なんで？ 「！」で、次郎は来るな！と思ったんじゃない？：抽出②

抽出①：そうなんだ。 次郎に、謝ったほうがいいんじゃない？：抽出②


抽出①：次郎に招待のLINEを送ってみる。 自分も送るよ。：抽出②

抽出①：次郎は怒っているかなー。

◆抽出 b 組 ペア学習による役割演技（ロールプレイ）

抽出③：A君の言いたいことが分かっていたら、あれは移動手段をきいただけだよと次郎に言う。わかっていなかったら、退会した理由を聞く。 普通に、違う違う。あれは移動方法を聞いたただけだよ。：抽出④

抽出③：次郎は今、A君のことを嫌っているから、謝ったほうがいいかな？ そうね。でも、今は謝ってもいまいかないかもよ。：抽出④

役割演技交代 

次郎退会したのなら次郎抜きで、祭りに行こう。：抽出④

抽出③：次郎抜きで祭りに行く？ 気まずすぎるかな？：抽出④

抽出③：祭りで会うかもしれんしね。 なら、A君も次郎もはずして、残りで行く？：抽出④

抽出③：ぐちゃぐちゃになるやろ。 他にもグループのメンバーはおるけん。

抽出③：次郎を置いて祭りに行くのはよくないね。 次郎を置いて祭りに行くのはよくないね。：抽出④

抽出③：次郎が、かわいそすぎる。

資料 3 抽出生徒の会話

(5) 授業実践における手立ての有効性についての考察

身近な SNS の問題を取り上げて、インターネットの特性には「公開性」と「記録性」があることや、SNS でのやり取りにおいて、短文は誤解を招く危険性があることを学ばせることで、情報モラルに関する知識を深めることができました。また、ペア学習による役割演技と保護者からの意見を聞くことで、傍観者の中にも仲裁者に近い考え方や観衆に近い考え方等、違う立場からの意見に出会わせ、情報モラルの問題について多角的に考察することができました。生徒の感想からは「それでも便利だから利用する」や「危険は感じるが、多くの人とつながるから利用す